

「道」

校長 池田 和幸

「道」という漢字は、訓読みでは「みち」と読みます。音読みでは「ドウ」です。日本語において、「道」という漢字が示す意味は、人やものが往来する通路、道路を示す意味として使われることが多いですが、華道、茶道、柔道、剣道で使われるように、人生や生き方として進むべき筋道として「道」という漢字を好んで使っています。「道徳」という言葉にも、「道」という漢字が使われていて、優れた「品格」や「人格」を示す「徳」という漢字とともに、その人の生き方を示す意味としても、「道徳」という言葉は使われます。人間一人一人の人生は、生まれた時から亡くなる時まで、一本の線のようにつながっているものであり、「道」という言葉に人生の意味を含めて捉えた先人の考えの深さに頭が下がります。

今年度の8月に関東中学校柔道大会が東京武道館で開催されました。関東各県から勝ち上がった選手が全国大会でのシード権を争って（柔道は都道府県代表のため）熱戦が繰り広げられました。少子化や瘦せ型の体格の中学生が多くなった等の背景もあり、階級によっては代表を出せない県が出てくるなど、柔道の競技環境は厳しくなってきたと感じることもありましたが、高いレベルで中学生が真剣に競い合っている姿には、高校野球の甲子園に負けない清々しさを感じました。

柔道は「道」という言葉を使っているところから、創始者の嘉納治五郎は柔道の修行を通して人格の完成を目指し、世の中に貢献するということを究極の目的としています。目先の勝利にこだわり過ぎることの戒めも残しています。関東中学校柔道大会に出場した選手の後ろには、負けて出られなかった各都県の選手が多くいます。勝てるように努力し、勝利を手にした選手も素晴らしいのですが、勝てなくとも真剣に稽古に励んできた選手も同様に素晴らしいのです。オリンピックに出場するような柔道の一流選手の中に、全国中学校柔道大会で優勝していた経験をもっている選手は多くいます。逆に中学生時代はあまり勝てず、高校、大学となってからトップ選手として活躍を始める選手もいます。少し視点を変えて人生という長いスパンで考えたときに、20代までは一流選手としては活躍できていなくても、30代、40代と指導者としてトップ選手を育て、一流の指導者として活躍する人もいます。70代、80代となったと

きに、地元の道場等で元気に稽古を積み重ねている方も多くいます。全国高段者大会という大会が毎年開かれています。そこで試合をすることを励みに多くの高齢の柔道家が出場しています。中学生時代に勝利の栄光をつかんでいても、その後の人生がどのような生き方ができているのかという視点もとても大切なのではないのでしょうか。

つまり、目先の一勝一敗で人生が決まるわけではないということです。この考え方は、柔道に限らず、これから進路を選んでいく皆さん一人一人にも当てはまります。何をもって人格の完成とするのか、そもそも人格は完成するのかという問いが生まれてきますが、人生の一時の結果ではなく、長いスパンの中でどのような生き方をしていきたいのか、これから様々な進路の選択肢を選ぶ中学生だからこそ、そういったことをしっかりと考えておくべきでしょう。

3年生はこれから本格的な進路選択の時期を迎えます。進学先選びにおいて、入試は通過点の一つに過ぎません。目標をもちその目標に向かって努力をすることは、とても素晴らしいことです。しかし、入試の可否にばかり目を向けるのではなく、その先をしっかりと見据えておくこともとても大切です。高校に入学してからどんな生活をしていくかで高校卒業時に得られるものが変わります。目標としていた高校に入学できても、入学後の生活を怠けてしまっただけでは意味がありません。目標の高校に進学できていなくても、進学した学校で充実した生活を送ることが出来ていれば、多くのものを得られるのではないのでしょうか。

「中学校3年間はあっという間」という言葉を聞くことが多いと思います。時というのは過ぎ去った時に「あっという間」というように思えるもので、まだ2年ある、まだ1年あると思ってしまうと、なかなか本気になって頑張ろうという気持ちが出にくいものです。1・2年生は進路について考えるのはまだ先だなど思っている人が多くいるかもしれませんが、自分はどのような中学校生活を送りたいのか、高校やその先はどんな進路に進み、頑張っていきたいのかを今から考え行動していくことは決して早くありません。自分自身がどんな生き方をしたいのかをしっかりと考えながら、充実した2学期を全校生徒の皆さんに送ってほしいと願っています。



夏休み中の部活動報告

夏休み中様々な部活動が活躍しました。

【華道部】

東京地区学生いけばな競技会 優勝

優秀賞 ** ***さん・* **さん

準優秀賞 ** ****さん

佳作 ** **さん

【硬式テニス部】

第52回東京都中学校新人テニス選手権大会(個人の部)第3ブロック大会

男子シングルス ** **さん 本戦進出(ベスト32)

男子ダブルス ** **さん・** **さん 予選決勝進出(ベスト32)

【ソフトテニス部】

令和8年度 杉並区スポーツ祭 中学生ソフトテニスの部 兼 新人シード決め大会

第3位 ** **さん・** **さん

【バレーボール部】

令和8年度杉並区中学校バレーボール新人大会予選Hリーグ2位

【吹奏楽部】

東京都中学生吹奏楽コンクール 銅賞

【卓球】

中学校卓球選手権大会出場 ** *さん



四者（保護者・CS・支援本部・教員）合同研修会 7/18



今年も学校運営協議会（CS）が主催の四者研修会が行われました。毎年、保護者・CS・支援本部・教員の四者で行われてきた合同研修会ですが、今年は「ミライの学校 Part2：校舎について語りつくそう」というテーマで意見交流を行いました。天沼中学校も今年度から本格的な校舎改築に向けた工事が始まります。施設の活用を含めた杉並区の教育に関するお話を聴きながら、活発な意見交流の場となりました。



2 学期より着任した教職員の紹介

いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、7月より休職となりました3学年副担任・音楽科教諭 岡本 二愛 教諭に替わり2学期より新しく教員が着任いたしました。また、青地 笑 栄養士の産休・育休取得に伴う代替職員をご紹介します。

音楽科 教諭 ** ** (*** **)	第3学年副担任 吹奏楽部顧問	栄養士 ** ** (**** ***)
--------------------------	-------------------	-------------------------

ホームページが新しくなりました

このたび、本校ホームページをリニューアルいたしました。学校生活の様子や行事予定、お知らせなどを、これまで以上に分かりやすくお伝えできるよう内容や構成を見直しました。今後も学校生活の様子や行事の様子を随時掲載し、保護者・地域の皆様に分かりやすく情報をお届けしてまいります。ぜひご覧ください。

